北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	特殊講義Ⅱ（西洋・東洋の思考）	科目コード	1606	単位数	2
担当者名	伊藤　昭男	開講セメスター	第4セメスター	開講年次	2年次
授業の方法	講義	到達目標	C,F	実務経験	無
ナンバリング	DSp406	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

豊かな人間形成における幅広い教養として、世界（日本を含む東洋、欧米、その他世界）の文化の多様性の本質を理解し、そこに隠された共通原理を考えることがねらいである。
国際社会における多様な価値観や世界観の存在を理解することがねらいである。

到達目標

異文化交流を円滑にしていくために必要な多様性の本質的理解の基礎を得ることができる。

授業内容

1週目 イントロダクション（講義の方針、進め方、テキストの「はじめに」など）
2週目 サブサハラ・アフリカに「文化の違い」を追い求めて①（アフリカでの挑戦、競争が協調を生む？）
3週目 サブサハラ・アフリカに「文化の違い」を追い求めて②（他の文化圏と比較してみると、親しみか・怒りか・誇りか）
4週目 サブサハラ・アフリカに「文化の違い」を追い求めて③（なぜ文化圏によって違いが生まれるのか、文化心理学とはどういう学問か）
5週目 日本の常識を疑う①（文化発見の旅、カルチャーショック）
6週目 日本の常識を疑う②（人間関係の能動性と受動性、人についての文化的常識を再考する）、『manabaを使用したレポート課題』の提示：締め切り日の指定あり）
7週目 日本の常識を疑う③（アメリカから日本へ、多様性から共創へ）
8週目 文化と心のダイナミズム①（新たな地平を目指して、独立・強調というモデル）
9週目 文化と心のダイナミズム②（個人主義と集団主義、規範の厳格さ）、『第1回試験』
10週目 文化と心のダイナミズム③（関係流動性、文化と心のダイナミズムのまとめ）
11週目 人類史から見る文化の起源①（文化はどこに？、生態・文化の複合体）
12週目 人類史から見る文化の起源②（遺伝子との共進化、進化が紡ぐ多様性と普遍性）
13週目 多様性と普遍性を探る旅①（ユーラシア大陸、中心傾向の意味すること・しないこと）
14週目 多様性と普遍性を探る旅②（心の世界地図、「近代西洋」はどこから来たのか）
15週目 多様性と普遍性を探る旅③（文化心理学が示す未来への道筋）、『第２回試験』
16週目 試験の講評を実施する。ただし、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講を実施する。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：事前にテキストを読んでおくこと（90分程度）。
復習：講義内容を振り返り、自分自身の考えをノートにまとめておくこと（30分程度）。

成績評価の方法・基準

２回の試験で80%、『manabaを使用したレポート課題』の提出で20%として評価する。

履修上の留意点

成績評価は原則10週以上授業に出席した学生を対象とする。
講義に関する連絡事項はLMS上で行うのでその都度確認すること。
manaba上で公開された講義資料は、必ず確認すること。
なお、講義中の私語は認めない。

課題に対するフィードバックの方法

試験結果について講評する。個人別試験結果については希望に応じる。

テキスト

北山　忍『文化が違えば、心も違う？』（岩波新書）1034円
必要に応じて講義資料をmanaba上で公開する。

参考書

鈴木大拙『東洋的な見方』（角川ソフィア文庫）680円

更新日付

2026/01/14 08:08